

新年のごあいさつ



代表理事組合長
丹下 和博

あけましておめでとうございませす。
謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年は、コロナ緊急事態宣言が幾度も発令され、戦後最大の経済・社会活動の危機に私たちは遭遇し、この影響の長期化が大変危惧されました。

そして農業を取り巻く環境では、農業者の減少や高齢化が一層進み、さらには鳥獣被害の影響も深刻化するとともに農地面積も減り続け、農業生産基盤の弱体化がより顕著なものとなりました。

このような状況において、令和4年は創造的自己改革の羅針盤として取り組んでいる第6次中期経営計画の総括を行い、本当に役に立ち喜ばれたことや、反対に十分な取り組みが行えなかったこと等を精査し、新たに第7次となる次期計画を立案する予定であります。

また、令和4年度では長引く低金利の影響で、JAの収支は多大な影響を受けるものと予想しておりますが、コロナの影響と併せて大きな荒波に役職員一同、切磋琢磨し立ち向かってまいりる所存でございます。

結びになりますが、本年も、創意工夫に富んだ協同組合活動の実践と、社会的役割を果たすべくSDGsの目標達成にも取り組み、地域に愛され必要とされるJAを目指してまいりますので、格別のご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

そして、令和4年が皆様にとってすばらしい年となります事を祈りし、新年のご挨拶といたします。

